（様式５）

令和５年度　指定管理者年度評価シート

1　基本情報

施設名称	大阪市立福島区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足・やや満足と回答される方」の割合
数値目標	85.2％以上(26ある老人福祉センターで実施(令和元年度～令和3年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市福島区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和５年４月１日から令和６年３月31日

2　管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	85.2%
年度実績	93.7%
達成率	110.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	20,874	19,581	1,293

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	17,000,000	16,900,000	0	―
	計画	17,000,000	16,900,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	―
	計画	0	0		
その他収入（自主事業収入）	実績	214,067	30,200	164,067	―
	計画	50,000	0		
合計	実績	17,214,067	16,930,200	164,067	―
	計画	17,050,000	16,900,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,575,089	13,509,741	-74,911	人件費の減。
	計画	13,650,000	14,100,000		
物件費	実績	3,638,978	3,024,634	238,978	―
	計画	3,400,000	2,800,000		
その他事業費（自主事業支出）	実績	0	0	0	―
	計画	0	0		
合計	実績	17,214,067	16,534,375	164,067	―
	計画	17,050,000	16,900,000		

（様式５）

令和５年度　指定管理者年度評価シート

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	110.0%	A	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施する中で、本市が定める水準を達成している。

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・節電・節水及び印刷物の裏面利用並びにLED化。	B	節電・節水やLED化などの取り組みを行うなど、市費の縮減に努めた。

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・避難訓練を併設施設と合同で複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、玄関ロビーに検温カメラの設置やアルコール消毒などの対策を実施している。
	事業計画の実施状況	B	・利用者の要望も高かった、スマホ教室などの体験講座の開催やチャレンジ独学や大人のぬりえをステイホーム応援企画として老人クラブの歩こう会や福島区社会福祉協議会地域包括支援による出張相談時に配布を行うなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
	施設の有効利用	B	・区役所及び地域包括支援センター並びに認知症初期集中支援推進事業と連携した認知症や介護予防講座の実施をするなど地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性		B	・個人情報保護規程を定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、節電・節水やリフレッシュリサイクル製品を使用するなど実効性のある取組を行っている。

5　利用者ニーズ・満足度等

（１）調査方法

センター利用者に対してアンケート調査を実施

（２）回答者208人（未記入者含む）

（３）質問項目

ア　基本的な事項（年齢、居住区等）

イ　満足度

ウ　感染症による影響、所持している電子機器等

（４）結果

・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が93.7％となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6　外部専門家意見

1.地域活動やスマホ講座等の昨年の意見を反映し、取り込んでよりよく活動できていた点が評価できる。
2.センターだよりについては、同好会情報は毎月でなく減らして、そのスペースを有効活用してより読みやすくできるのではないかと考えられるので、センター利用者の意見も聞きながら改善策を検討していただきたい。
3.事業報告書のPDCAのDの部分に、客観的な実績のほか参加人数などを加えていただきたい。Cに前年対比や参加者の受講状況をまとめ、それを分析して課題を見つけ、Aにその課題解決策を改善点として記述していただきたい。
4.男性利用者を拡大する目的での取り組みを検討実施したが、なかなか効果が得られないとの報告があったが、引き続き分析検討して進めていただきたい。また、男性限定の取り組み等の企画も法人の取り組みと連携しながら検討していただきたい。
5.高齢者が地域に貢献できるような枠組みとして、老人クラブと老人福祉センターとボランティアの3つの要素のつながりを重要視して取り組みたいとのことであり、具体的な活動としての展開を期待したい。
6.関係先へ行事活動報告の別冊配付は、センターの認知度向上策として評価できる。

7　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	アンケートによる利用者満足度の上昇に加え利用人数の増加がはかられている。
市費の縮減	B	節電・節水などの取り組みを行うなど、市費の縮減に努めた。
管理運営の履行状況 施設の設置目的の達成及びサービスの向上 施設の管理運営 事業計画の実施状況 施設の有効利用 社会的責任・市の施策との整合性	B	利用者の声や区役所の意見を聞きながら講座やイベント内容を工夫して開催することで、施設の設置目的に適した運営がなされている。 また、サービス向上に取り組まれた成果が、アンケートによるトイレ、館内看板、スタッフの対応、清掃、休憩スペースに対する改善要望は市平均より少ない結果にあらわれている。
総合評価	B	本市が期待する管理運営がなされている。